

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月22日

事業所名 縁キッズ東松山

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2			移転ができたことで空間が生まれたため、体を動かすことなどたくさん考えたい。
	2	職員の配置数は適切である	4	2	1		もう少し人員に余裕があるとゆとりが感じられる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	2	虐待防止の研修は年2回行うようにしている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	2		毎週1日職員ミーティングを行い支援方法など検討している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3		契約時・年に1回書き直しをさせていただいている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		2	割り振りをして作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			各々で作成しているため固定化はしていない。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2	1		細かくは設定できていないため、今後の立案時に職員間で意識していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		案の中で各々取り組めるものと集団で行うことの2通りで取り組むことが多い。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			日案を作成した職員が毎朝流れを伝え担当を伝えている。	活動の目的などを考えて発信していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	1	支援終了後は送迎終了後が退勤時間に近づいているため振り返りをすることが難しいが、気づき等は責任者に個々で伝えている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	4	1	連絡帳などで活動を記録しているが正しく記録をとるツールはない。	毎朝の振り返りを重視したい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	2	1		支援会議の後に、本案に向き合い話すことができていないため、時間の確保に工夫が必要。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		3	1			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		児童発達支援管理責任者が出席している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月22日

事業所名 縁キッズ東松山

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		当日の利用・次回の利用を毎朝チェックしている。トラブル発生時にはすぐに対応できるように児童発達支援管理責任者は必ず在中している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	1	幼稚園の先生と担当者会議等で話をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	2	高校3年生最後の担当者会議ですべての情報をお伝えしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		1	3		研修は受けていない。専門機関との連携を図り、研修参加に繋げていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	4	自立支援協議会に登録はできている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		問題等があるときにはお電話をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3		より丁寧な説明を今後も行っていく。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2		保護者面談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	3		保護者会の開催をして保護者同士の関りが持てる場を作っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		必ず早急に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2		月に1度おたよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			鍵付きのキャビネットを使用している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		わかりやすく伝えられるようジェスチャー等を交えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	5		季節のイベント等を通して地域連携を図っていきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月22日

事業所名 縁キッズ東松山

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	1	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	1	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	2	指示書はないが、保護者様からお伝えをいただいている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		すぐに共有し、再発防止に努めている。	